

しあわせ100%

発行元 ◆ 社会福祉法人福津市社会福祉協議会 (福津市健康福祉総合センターふくとびあ内) 〒811-3218 福津市手光南二丁目1番1号
電話 34-3341 FAX 34-3343 URL <http://www.fukutsu-shakyo.or.jp> E-mail jimukyoku@fukutsu-shakyo.or.jp
印刷 ◆ 社会福祉法人福岡コロニー

特集

～ あなたのやさしさはきっと、あと一步でカタチになる～
「福祉ボランティア活動」は特別なことじゃない!



この夏、福祉の現場を体験する!



高齢者・障害者・児童分野



ふくしの仕事・ボランティア
体験月間 (←詳しくは3Pへ)

▲電子録音物の配布が始まりました!▲

視覚障害者の生活を支援するために、音訳 (情報を朗読して録音物を作成する) 活動をしている「音訳ボランティアふくつ」では、平成24年2月からCDへの電子録音を開始しました。聞きたい場所を探しやすくなるなど、従来のカセットテープへの録音よりも、利用者の利便性向上が期待されています。写真はCDを再生する専用装置「プレクストーク」。音訳CDについての問い合わせは社会福祉協議会 (電話34-3341) までお気軽にどうぞ。

7/1号 おもな 内容

- 特集** 「福祉ボランティア活動」は特別なことじゃない! (写真特集もあります)
- 平成23年度福津市社会福祉協議会事業報告と決算について (P 6-7)
 - 地域福祉活動の現場から (P 8) ●中古パソコンの寄付募集中 (P 9)
 - 福津市ふれあい交流事業【通年型】参加者募集中! (P 10)

この夏、「福祉」の現場を見てみませんか？

ふくしの仕事・ボランティア体験月間事業 参加者募集！

社会福祉協議会では、「福祉」に関わる仕事や活動についての理解を広めていくことを目的に、8月に以下の福祉施設や団体等と協力して、1日体験事業を開催いたします。それぞれの業務や活動の体験のほか、職員やボランティアとの交流の時間を設けて、その想いや考え方も知ることもできる体験イベントです。みなさまのご参加をお待ちしています。

【対象者】 福津市内に在住、または在学・在勤する中学生以上の方
【内容】 福祉施設の業務体験やボランティア活動体験 (以下のメニューから選んでください)

- ★しごと(業務)体験 保育所、高齢者福祉施設、障害者福祉施設
- ★ボランティア活動体験 音訳、手話、点訳、おもちゃ図書館

保育所

- 場 所 ①大和保育所 ②福間保育所 ③花見保育所 ④東福間保育所 ⑤真愛保育園 ⑥津屋崎保育園 ⑦いどり真愛保育園
- 開催日 8月7日(火)～9日(木)
- 時 間 いずれも9:00～16:00 ●参加費 250円(給食費として)

障害者福祉施設

- 場 所 福間サンテラス
- 開催日 8月7日(火)～9日(木)
- 時 間 9:00～16:00
- 参加費 無料(昼食持参)

高齢者福祉施設

- 場 所 特別養護老人ホーム津屋崎園
- 開催日 8月7日(火)～9日(木)
- 時 間 9:30～16:00
- 参加費 無料(昼食持参)

音訳(朗読)

- 場 所 ふくとびあ
- 開催日 8月10日(金)
- 時 間 13:30～16:00
- 参加費 無料

手話

- 場 所 ふくとびあ
- 開催日 8月8日(水)
- 時 間 13:30～16:00
- 参加費 無料

点訳(点字)

- 場 所 ふくとびあ
- 開催日 8月20日(月)
- 時 間 10:00～15:00
- 参加費 無料(昼食持参)

おもちゃ図書館

- 場 所 ふくとびあ
- 開催日 8月7日(火)
- 時 間 10:00～15:00
- 参加費 無料(昼食持参)

※イラストは全てイメージです ※各コースとも定員超過の場合は抽選となります

参加したい内容・日にちを第2希望まで決めて、7月20日(金)までに申し込みください
【申込・問い合わせ先】 社会福祉協議会 電話34-3341

社会福祉協議会や福祉施設からのボランティア募集情報が届きます！ 個人ボランティア登録受付中です



福津市社会福祉協議会では、個人で活動するボランティアの登録受付を行っています。ご登録いただきますと、社会福祉協議会や福祉施設からのボランティア募集情報、そして研修などのイベント情報をメールやFAX、お手紙などでお手元にお届けします。

詳しくは社会福祉協議会(電話 34-3341)までお気軽にお問い合わせください。

特集

「福祉ボランティア活動」

特別なひとびとじゃない！

あなたのやさしさはきつと、あと一歩でカタチになる

福津市社会福祉協議会は、地域の福祉問題の解決や軽減を図るため、社会福祉法人として活動を始めてから、福祉ボランティアの育成に努めてきました。現在、社会福祉協議会には点訳、音訳、手話、はがき絵の製作、傾聴(話し相手)、おもちゃの図書館など特定の分野の活動を行う団体、いきいき語ろう会(ひとり暮らしの高齢者のつどい)の活動支援や視覚障害者の生活支援などを行う団体など、九団体が所属しており、その会員の合計は三九六人となっています。この他に一人個人で活動するボランティアも三五人が登録しています。一昔前は、福祉は特別な人のためのもの、というイメージがありました。現在、福津市も四人に一人が高齢者となる時代を迎え、また、親と子が離れて暮らすことが多くなった

現代において、家族や地域の絆の価値が見直されるようになっていきます。これからは、自分のこと、家族のこと、そして地域のことを考えていくにあたって、福祉という視点は外せないものとなっていきます。将来の自分自身のため、この夏、福祉について少し考えてみる機会を作られてはいかがでしょうか。八月には福津市内の福祉施設や団体と協力しながら、福祉の現場を体験し、同時に職員やボランティアなどと交流し、その想いや考え方を伝えるための「ふくしの仕事・ボランティア体験月間事業」も開催します。ぜひこの機会に、福祉の分野に触れてみてください。この夏、あなたのやさしさは、あと一歩でカタチになります！

最初の一步は きっとここにある



福祉ボランティア…。興味はあるけど参加のきっかけもないし、私には特別な技術も経験もないしなあ…



4～5ページに活動の写真がたくさんあるわ。いろいろな活動があるのね。私にもできる活動があるかしら。

写真特集は P4～5へ



左のページの1日体験なら私にもできそう。どんな人が、どんな想いで参加しているのか実際に見てみよう。

夏の体験事業 次のページへ



左下の個人ボランティアは自分のペースでできる活動なんだって。忙しい私でもこれならできるかも。

個人でも活動OK

まめ知識



手話で表現されるボランティアの意味

手話で「ボランティア」という言葉を表現する方法のひとつに、右のイラストのように両手の人差し指と中指を下に向け、それを二人分の足に見立てて一緒に進んでいく、というのがあります。これは、ボランティアは相手を一方的に助けたりするのではなく、相手に寄り添い、ともに前に進んでいくという意味を含めたものと言われています。

⑥ひとり暮らしの高齢者などに送る「こいのぼりの会」のはがき絵制作の様子。⑦視覚障害者向けの点字情報をつくる「ねむの会」のメンバー。⑧イオンモール福津でのイベントに出張した「おもちゃ図書館のたんぼぼ」⑨視覚障害疑似（アイマスク）体験の様子を見守る「ひかりの会」メンバー。



①手話講習会で後進の指導にあたる「手話サークルひまわりの会」の講師。②移送サービスの運転ボランティア向け研修。③東日本大震災の被災地へ贈る毛糸の帽子を作る「虹の会」のみなさん。

想いが人を支えてる 福津市社会福祉協議会 関係ボランティア



活動写真館



明日、あなたの笑顔が

この現場にあるかもしれない



⑩社会福祉協議会主催のボランティア講座。講座の受講をきっかけにボランティア活動を始め人もいます。⑪朗読の勉強をする「音訳ボランティアふくつ」のメンバー。⑫大型のタペストリーをメンバーで協力しながら製作する「おもちゃの図書館たんぼぼ」のみなさん。

④「傾聴ボランティアほほえみ」の研修風景。話の聞き方を学ぶロールプレイの様子です。⑤「地域婦人会」は社会福祉協議会事業「いきいき語ろう会」の参加者のために昼食を準備しています。

事業報告(概要)

①住民参加の福祉活動

- 小地域住民組織化事業(28か所・30地区)
- 介護予防サロン普及事業(21か所)
- 貸切バス助成事業(5団体)
- ふくし活動用具貸出し事業(265件)
- ほかほか福祉のつどい事業
- ボランティアセンター運営
 - ・関係ボランティア団体の活動支援
 - ・個人ボランティア登録
 - ・ボランティアコーディネート
 - ・活動希望・依頼相談
 - ・活動実施上の打合せ等
- ボランティア保険加入
- ボランティア活動助成事業(9団体)
 - ・ねむの会 ・福津市おもちゃの図書館たんぽぽ
 - ・音訳ボランティアふくつ ・ひかりの会
 - ・福津市手話サークルひまわりの会
 - ・福津市地域婦人会 ・虹の会
 - ・心のきゅちぼーるこいのぼりの会
 - ・福津市傾聴ボランティアほほえみ
- ボランティア講座事業
 - ・傾聴ボランティア入門講座
 - ・傾聴ボランティアフォローアップ研修
 - ・運転ボランティア養成講座
 - ・運転ボランティアフォローアップ事業
 - ・ふくおか“きずな”フェスティバル参加
 - ・ふくしの仕事・ボランティア体験月間
- 災害対策事業
 - ・災害ボランティア養成講座

②福祉の振興

- ホームページの公開
- 社協だより発行(年5回)
- 赤い羽根共同募金運動への協力
- 歳末たすけあい募金配分事業
- 納骨堂管理運営事業【一部市委託事業】

③高齢者福祉事業

- いきいき語ろう会(年2回)
- 在宅介護者のつどい(年1回)
- 訪問介護事業(年10,340時間)
- 介護予防訪問介護事業(年1,770時間)
- 居宅介護支援事業(年458件)
- 居宅介護予防支援事業(年133件)
- 要介護認定調査事業【市委託事業】(年1,559件)
- 介護相談事業(年58件)
- 老人農園事業(4か所)
- ひとり暮らし高齢者等見守り事業(研修会年1回)

④福祉教育

- 福祉教育読本配布事業(507冊)
- ふくし体験教室事業(8校+1地区のべ26回)
- 社会福祉協力校事業(10校)
- 実習生受け入れ(1名のべ日数24日)
- 中学生職場体験受け入れ(2名)

⑤心身障害児・者福祉

- 手話講習会事業(3クラス/各年36回開講)
- 手話通訳者派遣事業(年196件)
- 車イス貸出し事業(年143件)
- 移送サービス事業(年125件)
- 障害者居宅介護事業(年2,313.5時間)
- 地域生活支援事業【市委託事業】(年745.5時間)
- 同行援護事業(年66時間)
- 福津市ふれあい交流事業【市委託事業】

⑥子育て支援事業

- 貸出し用おもちゃの購入

⑦援護活動

- 心配ごと相談事業(年108件)
- 日常生活自立支援事業(相談:年25件/支援:年265回)
- 生活福祉資金貸付事業
 - ・相談受付 年129件
 - ・年度末貸付件数 68件

⑧福祉団体支援等

- 福津市あすなる会
- 福津市身体障害者福祉協会
- 福津市民生委員児童委員協議会
- 福津市在宅介護者ぶどうの会

さる五月二十九日に、福津市社会福祉協議会理事会において、平成二三年度事業報告・一般会計収支決算が認定を受け、評議員会で承認されました。

平成二三年度は、東日本大震災を契機として、災害ボランティアセンターの運営など社会福祉協議会が果たすべき役割が注目されましたが、同時に、被災された方が暮らす仮設住宅において、孤独死を防ぐための見守りや、住民が集まり、笑い、絆をつくるサロン活動などの重要性も認知され、あらためて地域における福祉活動が日々の生活の中に不可欠な

ものであることが浮き彫りになったように思われます。

福津市社会福祉協議会でも、平成二三年度も小地域住民組織化事業や介護予防サロン普及事業などの支援を続けてまいりました。これは地域のみならずが主体となり、楽しみながら継続できる活動を行うことで、日々の生活の中に安心を生み出し、地域の絆づくりにつながる事業です。これらを行政などと連携しながら展開したほか、ボランティア活動の推進、介護サービスの提供などにも積極的に取り組んでいます。

平成23年度
社会福祉法人福津市社会福祉協議会
事業報告・決算報告

収入の部

(単位:円)

勘定科目	決算額	割合
1 寄付金収入	4,796,000	2.8%
2 経常経費補助金収入	51,642,000	30.3%
3 受託金収入	12,453,882	7.3%
4 事業収入	162,900	0.1%
5 共同募金配分金収入	12,072,366	7.1%
6 介護保険収入	47,241,732	27.7%
7 自立支援費等収入	6,717,675	3.9%

勘定科目	決算額	割合
8 雑収入	1,050,264	0.6%
9 受取利息配当金収入	33,871	0.0%
10 経理区分間繰入金収入	1,308,857	0.8%
11 積立預金取崩収入	2,133,000	1.2%
12 前期末支払資金残高	31,058,829	18.2%
収入合計	170,671,376	100.0%

支出の部

(単位:円)

勘定科目	決算額	割合
1 人件費支出	95,850,145	56.1%
2 事務費支出	3,964,615	2.3%
3 事業費支出	17,427,578	10.2%
4 助成金支出	9,227,700	5.4%
5 経理区分間繰入金支出	1,308,857	0.8%
6 固定資産取得支出及び繰入支出	1,814,240	1.1%
6 積立預金積立支出	8,391,225	4.9%
7 その他支出	2,701,800	1.6%
8 当期末支払資金残高	29,985,216	17.6%
支出合計	170,671,376	100.0%

東日本大震災被災地支援

事業報告の中には記載していませんが、東日本大震災への職員派遣や、ボランティア活動への参加にも取り組みました。

- 職員派遣(1名・5日間)
福島県浪江町社会福祉協議会
- ボランティア活動
宮城県石巻市(1名・1日間)
岩手県釜石市(1名・2日間)



釜石市災害ボランティアセンター
(平成23年5月)

お知らせ

点訳ボランティアねむの会では、中古パソコンの寄付を募集しています！



福津市社会福祉協議会を拠点に活動している点訳ボランティア「ねむの会」は、希望する視覚障害者のみなさまへ点字情報をお届けする活動を行っています。

現在、活動はパソコンを用いた作業が多くを占めるようになり、相当の台数が必要となっています。高いスペック（能力）は必要ありませんので、もし、ご自宅などにご使用にならない中古パソコン（ノートパソコン希望／デスクトップも可）がありましたらお知らせください。受取りにお伺いします。

【問い合わせ先】社会福祉協議会 電話34-3341

※あなたの連絡先をご伝言ください。後日、ねむの会より折り返しご連絡差し上げます。

急なご利用に便利です！車イス無料貸出しのご案内

福津市社会福祉協議会では、病気やけがなどの理由により、一時的に車イスが必要な方に、1か月を限度として車イスを無料で貸出しするサービスを行っています。

対象となるのは福津市内にお住まいの方です。ただし、病院に入院、または福祉施設をご利用中の方などで、日常的に病院や施設の中でご使用になる場合は対象外となります（一時的な外泊や外出の際にはご利用いただけます）。

- 利用例
 - ・病気やけがで一時的に必要な
 - ・家族を旅行に連れて行きたい
 - ・入院中の病院から一時帰宅したい
 - ・介護保険でレンタルするまでのつなぎ 等



貸出しの受付

ふくとぴあ2階の社会福祉協議会事務所へ直接お越しください。窓口に来られる方の認め印鑑が必要です。

受付は月～金曜日（祝日除く）の午前8時30分から午後5時までとなります。

ホームヘルパー募集中

福津市社会福祉協議会では訪問介護員（非常勤職員）を募集しています。介護福祉士もしくはホームヘルパー（1級又は2級）資格と、普通運転免許資格の両方をお持ちの方で、明るく、元気な方の応募をお待ちしています。

電話43-5453（担当：鶴・西内・永嶋）

地域福祉活動の現場から

小地域福祉会 緑町区に福祉会が誕生！ 地区説明会を実施しました。

地域にお住まいの方が中心となって、その地区に必要な福祉活動を無理なく、出来るところから取り組んでいく「小地域福祉会」が、平成24年4月1日に緑町区に誕生しました。

緑町区は海に面し、すぐそばには福間漁港や海浜公園などがあり、昔からある住宅が多く立ち並ぶ地区で、人口は1,302人。高齢化率は31%（平成24年3月末日現在）となっています。今回、誕生したばかりの福祉会について、地区で理解を深めてもらうために、本会職員が地区の組長さんなどに説明を実施しました。緑町区福祉会は今後、地域お住まいの70歳以上のひとり暮らしの高齢者の方や、80歳以上の方を対象に、お茶のみ会の開催や定期訪問活動、ごみの分別支援などの活動を計画されています。



5月20日 緑町公民館で行われた説明会

社会福祉協議会では福祉会の結成後も、活動に関する相談の受付や研修会の開催などで福祉会への支援を継続的に行ってまいります。

介護予防サロン 地域の笑顔を守り続けて12年「若木台語ろう会」

JR東福間駅の東側に広がる、人口4,807人、高齢化率33.1%（平成24年3月末日現在）の若木台団地。ここには本会が「介護予防サロン普及事業」をスタートさせる平成20年よりはるか以前、平成11年11月から12年以上にわたり活動を行っている「若木台語ろう会」があります。4月24日にかいがら公民館で開催されたサロンには、スタッフも含め53名の参加がありました。今ではお互いに気心も知れ、グループでおしゃべりする「語ろう会タイム」にはそれぞれのテーブルで笑いの花が咲きます。スタッフの一人は「女性の参加者が、回数を重ねるごとに化粧や服装がきれいになっていきます」と語ります。この会への参加を心から楽しみにしている参加者の気持ちがわかるコメントです。それでも、開始した当初は「よそよそしく笑顔の少ないサロンだった（代表者）」とのこと。長い歴史を積み重ね、地域になくてはならない存在になったサロンの姿が、ここにあります。

この日の内容

- 10：10～10：20 健康体操・早口言葉
- 10：20～11：00 ハーモニカ演奏
- 11：00～11：40 語ろうタイム
- 11：40～12：00 レクリエーション



4月24日 若木台かがら公民館で開催された「若木台語ろう会」語ろうタイムの様子

※「若木台語ろう会」は平成20年4月に介護予防サロンの認定を受けています

さあ、みんなでいっしょに出かけよう！

福津市ふれあい交流事業

【通年型】参加者募集中！



「福津市ふれあい交流事業」は、ふれあいや交流を通じて障害や障害のある人への正しい理解を広め、障害のある人の自立や社会参加をすすめるための福津市の事業です。「通年型」事業はおおむね月に1回、障害のある人やその家族・関係者、そして市民のみなさんが楽しみながら交流を深めていくイベントで、これまでも「友だちがたくさんできた」「週末の楽しみができた」など、参加者のみなさんに好評です。ぜひ一度遊びに来ませんか。

これまでの活動例



茶話会



屋外レクリエーション



料理づくり (試食の様子)

対象者

- ① 福津市内にお住まいか、通勤・通学している障害のある方
- ② ①の関係者 (家族・友人・介助者など)
- ③ 事業の趣旨に賛同いただけるすべての福津市民

日時

おおむね月1回、土曜・日曜や祝日に開催します。時間は内容によって変わります。参加したいとき (内容) だけの参加もOKです。

場所

福津市健康福祉総合センター「ふくとびあ」で開催します。内容によっては別の場所で開催 (集合) することがあります。

参加費

無料です。ただし、内容によっては材料費、交通費などの実費が必要な場合があります。

その他

- 会場までの送迎はありません。●会場には進行を行うスタッフのほか、ホームヘルパー資格を持つスタッフが若干名とボランティアスタッフがおりますが、特定の参加者に常時専門的な介護を提供することはできません。●初めてご参加される場合は、内容の確認も兼ねてご家族・介護者などと一緒にご参加ください。●8月以降の予定につきましては問い合わせください。

次回の内容

今回は7月22日 (日曜日) に開催します。
 時間は10:00~13:30、
 場所は「ふくとびあ」の調理室です。
 内容は料理 (カレー&ハンバーグ) づくり。
 参加費500円です。定員は40名となります。
 7月17日 (火曜日) までに申し込みください。



**ボランティア
スタッフも
募集中です**
詳しくは問い合わせください

【申込・問い合わせ先】

社会福祉協議会 電話34-3341まで

※イラストはすべてイメージとなります